

牟岐町

令和2年3月作成

津波避難マップ

わが家の避難先

災害に備えて、避難する際の避難先・避難経路を事前に家族で話し合って決めておきましょう。避難先・避難経路は複数の候補を決めておきましょう。
また避難訓練を行い、実際にかかった所要時間を目安として記入しておきましょう。

第1候補

歩いて_____分

第2候補

歩いて_____分

第3候補

歩いて_____分

凡例

津波時の避難先

緊急避難場所

津波避難ビル

斜面崩壊の危険がある範囲

土砂災害に関する詳細情報は徳島県ホームページ(土砂災害警戒区域等マップ)で確認できます

避難方向

備蓄倉庫

津波災害警戒区域
(避難対象地域)

基準水位

10m以上

5 ~ 10m

3 ~ 5m

0.5 ~ 3m

0.01 ~ 0.5m

津波影響開始時間

地震発生後、初期水位から20cm以上の変化が生じるまでの時間

約 11 分

津波水位

津波による最大水位(標高)

最大 9.8m

過去の浸水範囲

(1946年昭和南海地震津波)

津波浸水想定の設定条件

●想定津波：南海トラフ巨大地震(マグニチュード9.1)による最大クラスの津波

●初期水位
満位：朔望平均満潮位
大潮の時期(朔と望)の最高満潮位の平均
河川内の水位：平水流量による水位または、沿岸の朔望平均満潮位

●構造物の取り扱い
○堤防・護岸・防潮堤
コンクリート構造物:地震によりすべて破壊
盛土構造物：地震により75%沈下し、津波が乗り越えた時点で破壊
○水門等：耐震性を有し自動化された施設、常時閉鎖の施設等以外、開放状態
○建築物：建物の代わりに津波が通上する時の摩擦(相度)を設定

●「津波災害警戒区域」は、津波が発生した場合に生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域で、「徳島県津波浸水想定(平成24年10月)」を基に、徳島県が指定(平成26年3月)しています。

●牟岐町では、津波災害警戒区域を避難対象地域としています。

●「基準水位」とは、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物等に衝突する津波の水位の上昇(せき上げ)を考慮して、必要と認められる値を加えて定める水位です。

●「基準水位」の数値は、徳島県ホームページで閲覧できます。

●津波浸水想定は、**最大クラスの津波が悪条件下で発生**した場合を想定されたものです。また最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、**これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。**

●河川や池、沼、水路は、着色されていませんが、津波の遡上等により浸水することがあります。

津波災害警戒区域
(避難対象地域)

海岸線

津波水位
(標高m)

基準水位

標高±0m (東京湾平均海面T.P.±0m)

牟岐町

このマップは、色覚の多様性に配慮して編集をしています。

牟岐

約 11 分

最大 9.8m

0

100

200

300

400

500m

北